

令和5年度 神奈川県高齢者権利擁護・身体拘束廃止推進研修（専門研修）

日程	動画時間	形態	教科単元・内容	講義・演習のねらい	講師名	会場
動画視聴期間 （予定） 1月15日（月） ～ 1月29日（月） ※受講確認書 及び演習課題 提出期限 1月30日（火）	90分	講義	高齢者権利擁護・身体拘束廃止推進の必要性と権利擁護推進員に期待すること	・高齢者の権利擁護や身体拘束廃止を推進していくために何が必要かを学ぶとともに、研修修了後に「権利擁護推進員」としてどのような役割が期待されているかを学ぶ。	介護老人保健施設みどりの杜 看介護部長 武藤 とみ子 氏 （横浜市認知症介護指導者）	オンライン （ホームページ上で配信する動画を視聴） 掲載場所URLは受講決定通知にてお知らせします。
	110分	講義	ストレスマネジメントの理論と方法	・チームケアを円滑にするために、ストレスの仕組みと対処法を理解した上で、チームメンバーのストレスを緩和する方法論や実践方法を理解できる。	横須賀老人ホーム 施設長 佐野 芳彦 氏 （神奈川県認知症介護指導者）	
	260分	講義	介護現場のアセスメントとケアの実践に関する指導について	・介護現場のケアに関する実践能力の現状評価の視点と方法が理解できる。	神奈川県認知症介護指導者 松浦 美知代 氏	
	120分	講義	ご利用者・職員の安心・安全を担保する仕組みづくり	・他部門・家族や地域との連携、協働を円滑にするための機能を戦略的に整備していく基本的な考え方を学ぶ。 ・苦情・事故発生時の対応についてフローチャートを企画・立案することができる。		
	10分	演習課題の説明	高齢者権利擁護・身体拘束廃止推進の実践課題設定	・高齢者権利擁護・身体拘束廃止推進にむけ、課題の整理・実践計画を立案する。		
	（受講後）	課題設定シートの作成	課題設定シートの作成・提出	・各受講者が施設に戻り、現場の実態に合った課題の整理・実践計画を立案する。		

※「課題設定シート」に基づく支援実践（1か月程度）後、「実践報告書」を提出する（任意）。「実践報告書」を基にしたグループワークを実施し、参加者が議論する機会を設ける（令和6年3月予定）。

「課題設定シート」の提出までは研修修了の要件ですが、「実践報告書の提出」「グループワークへの参加」は任意です。